

みんなの 広場

「身近な出来事やイラスト」

「テーマトーク」募集中!

アケビカーテン

いつもより多めに刈り上げてしまったので、今年のアケビの実は諦めていました。ちょっと外を見たら、カラスをはじめ小鳥たちが騒いでいて、たった1つの15~20cmくらいのアケビの皮だけが半分残っていました。小鳥たちへのプレゼントになって良かった!自然な薄紫のグラデーションの実は何とも言えない秋の色ですね。

小松市 さよ

健康チャレンジ

仕事を辞めることになったので、このままだと太るなあ~と思い、毎日歩くことにしました。はじめは、雨が降ってるからとか言い訳してましたが、生協さんの企画(健康チャレンジ)で1日5000歩以上歩くと決

め、1か月間頑張りました。おかげで、毎日5000歩以上、ときには10000歩と歩くことができました。これからも続けます。

小松市 あゆうママ

たき火で焼き芋

最近コロナでどこにも行けない中、キャンプを楽しんでいます。先日は自然の中でたき火をしながら焼き芋を堪能してきました。子どもが芋ほり遠足で採ってきたお芋だったので、なおのことおいしかったです。皆さんもぜひお試しください。

金沢市 あさママ



白山市 山のパーチャン

防災士の試験

今度、防災士の試験を受けます。2、4、7歳の子どもたちを寝かしつけた後、起きて予習や課題をしようと毎日思いながら、一緒に寝落ちして起きられません。さすがに400ページ以上ある教本は今から読まないとい

間に合わないので、重いまぶたを開けて頑張ります!!

金沢市 えっこ



七尾市 隣の芝

プチリフォーム

外出を自粛していた期間、プチリフォームにチャレンジしました。間仕切りにしていた食器棚の裏面に生協で買い求めた壁紙を貼りました。リビングの雰囲気が変わり、気分も一新しました。何よりもこの作業を夫と一緒にやったことが楽しい時間となり、連帯感が深まりました。私以上に真剣に打ち込む彼を見て、コロナ禍のストレスをためていたのではないかと気がつきました。また、一緒にやろうね。

内灘町 レオ

娘の里帰り出産

娘の名字が変わり、嫁に行って数ヵ月。結婚式もあつという間に過ぎ...(涙)、そして来月、孫ができる♡

金沢市 くり

何が必要?あれもこれも必要!自分が母となり数十年。娘の補佐がどれだけでできようか。何と言っても初孫なので、心配が尽きない。里帰り出産。わくわくどきどきである。

中能登町 メイブルちゃん

めざせ完食

1歳半の孫娘はおしゃべりが上手。「にゅうにゅう(牛乳)ちょうだい」「オート(ヨーグルト)ほちい(欲しい)」と2語文もバッチリ。乳製品は大好きですが野菜はほとんど食べず、「にんじんおいしいよ」「玉ねぎ食べてみよ」と優しく言っても「いらん!」とはっきり拒否。料理が苦手な娘に代わってなんとか知恵を絞るばあばも実は料理が不得意。わが子たちは好き嫌いがほとんどなかったのに孫で苦労するとは…。かわいい孫のために頑張るぞ!

白山市 ゆきこママ

名残惜しい時間

電車が大好きな息子たちを連れて、晴れた日には電車を見に行っています。電車や踏切のまねが好きな息子も、春からは幼稚園児。母は期待と不安が混ざっていますが、残り少ない平日の貴重なお散歩タイムを楽しみたいです。

金沢市 くり



七尾市 ミルク(9歳)

テーマトーク

今月は

お風呂のエピソード

お風呂みかん

出身地がみかんの産地というのも関係しているかもしれませんが、子どもの頃から冬はお風呂でみかんを食べる習慣がありました。ある日、子どもたちとお風呂みかんをしていたら、主人にびっくりされました。それが普通だと思っていた私は、びっくりした主人にびっくりしました(笑)。子育て中のママさん、お子さんがお風呂を嫌がったときは「お風呂みかんしよう!」と誘ってみてください。おすすめですよ。

能美市 ひなこ

そろそろお風呂に

1人暮らしのため、夏の間はほとんどシャワーだけの生活でした。この前、お友だちとお茶したときに、「そろそろお風呂入ろうかなあ~。2ヵ月ぐらい入ってないし」と言ったら、一同「エーツ」とどん引き。その後、「そういうことかあ~」と大笑いしました。

津幡町 ふくちゃんママ

息子と銭湯も終わり?

小学1年生の息子と2人で銭湯に行ったとき、最初は喜んでいましたが、いざ脱衣所に入ると恥ずかしくて、私の後ろにぴったりくっついて離れません。「男、ぼくだけだから...」と。今まで何度も一緒に銭湯に入っていたので、もう入れなくなるのか...と少し寂しくなりましたが、息子の成長を感じたできごとでした。

津幡町 さるりんご

薪風呂

この間まで薪風呂だったわが家。灰をかき出すときゴホゴホ。薪がうまく燃えず煙にゴホゴホ。風のある日は危ないので、お風呂は沸かせない。不便極まりないお風呂だったが、なぜか懐かしい。燃え終わりにアルミに包んださつま芋を放り込んで、焼き芋にしたり、見られると都合の悪い紙は一緒に燃やしたり、シュレッダー代わりにもなった。赤い炎を見ているのもなぜか楽しかった。

加賀市 雪だるま

お風呂でおしっこ

イヤイヤ期まっただ中の2歳4か月の孫と初お風呂。「お風呂入ろうか」「イヤー」。何とか入って体を洗い、ふと見ると浴槽の中におしっこをしていました。男の子はそんなものなのでしょうか?気持ち良くなったのかご機嫌になって、「上がろうか」と言っても「ヤダー」の連発でした。

能登町 原マキコ



能美市 コテツ

次回のテーマトークのお題は

制服



私が生協を利用したきっかけは、子どもが小さく手がかるため買い物にかながりに行く、もう1回始めてみるか!と軽い気持ちでした。まさか今もお続く新型コロナウイルス感染症という恐ろしい感染症がまん延する時代に突入するとは夢にも思いませんでした。生活も一変し、怖くてますます買い物にも行きづらくなり、生協の宅配はわが家にとつてなくてはならない存在となりました。宅配で便利になるのはもちろんのこと、おうち時間が多くなり、前にも増して中のチラシを深く読み込むようになったり、「とらいあんぐる」のレシビに応募して掲載されたり、いつしか生協を楽しんでいる自分に気づき、生活もとても豊かになったように思います。生協のおかげやお惣菜の味付けはわが家の口にも合い、食卓を豊かにしてくれます。生協の海鮮が大好きな娘も高校受験を目前に控え、成長と同時に希望の春を夢に見ています。終息の見えないコロナ禍の生活にはなりますが、生協の食卓を囲み、笑いの絶えない生活を送れたらと願っております。



生協とわが家

書き人 N・E